



にかほの偉人

この人たちはなぜ今に名前が残っているのだろうか。



齋藤憲三氏

<https://adeac.jp/nikaho-city/top/kids/kids-ferrite-2.html>

にかほ市／デジタルミュージアム



白瀬南極探検隊 写真_a.白瀬直雄 (50)

<https://adeac.jp/nikaho-city/catalog/ns00000793>

所蔵：白瀬南極探検隊記念館



大判写真(齋藤宇一郎先生・齋藤憲三先生)

<https://adeac.jp/nikaho-city/catalog/nn00001467>

所蔵：仁賀保勤労青少年ホーム



山崎貞一氏

<https://adeac.jp/nikaho-city/top/kids/kids-ferrite-2.html>

にかほ市／デジタルミュージアム



木版画へのこだわり

<https://adeac.jp/nikaho-city/top/kiseki/ikeda.html>

にかほ市／デジタルミュージアム

R6.12.23

Dグループ

にかほの偉人たち



仁賀保地域

齋藤 宇一郎

齋藤 憲三

山崎 貞一

秋田県 にかほ市

金浦 地域

白瀬 轟

北能喜市郎

象潟 地域

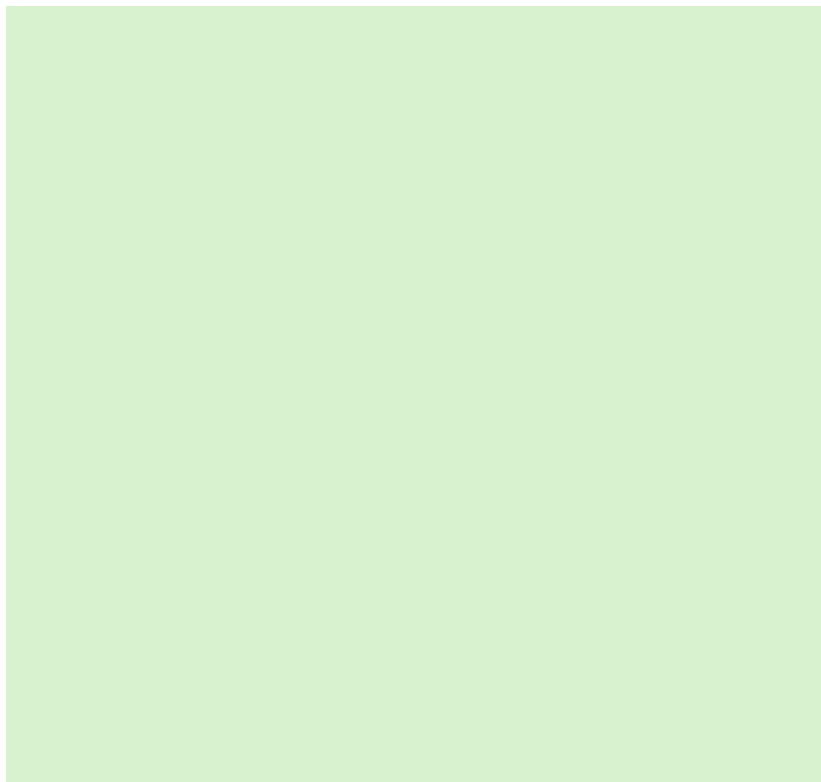
覚 林さん

池田 修三

松尾 芭蕉

佐々木順治郎

白瀬矗（しらせのぶ）の生い立ち・功績



お寺（浄蓮寺）の長男

知教から矗へ



恩師 佐々木節斎先生
との出会い

北極から南極へ

白瀬南極探検隊_写真_a.白瀬矗 (50)

<https://adeac.jp/nikaho-city/catalog/ns00000793>

所蔵：白瀬南極探検隊記念館



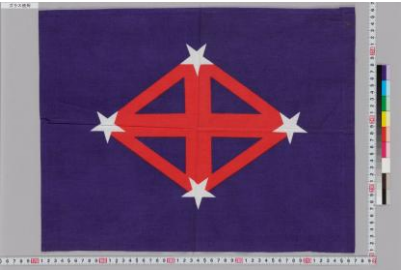
開南丸

所蔵：白瀬南極探検隊記念館

資料の問い合わせ先URL

<https://adeac.jp/nikaho-city/terms-of-use>

大和雪原



南極探検旗（南十字星、木綿、レプリカ）/武田輝太郎隊員資料

<https://adeac.jp/nikaho-city/catalog/ns00000531>

所蔵：白瀬南極探検隊記念館
（武田家寄託資料）



南極探検関連写真/村上資料

<https://adeac.jp/nikaho-city/catalog/ns00000752>

村上氏蔵



南極探検関連写真/村上資料

<https://adeac.jp/nikaho-city/catalog/ns00000752>

資料提供：白瀬南極探検隊記念館

1912年白瀬矗は、南極大陸に日章旗を
かけ、大和雪原と名付けた。

探検家だけとしてではなく、
動物研究でも大きな功績をあげている。

大和雪原と昭和基地の位置

大和雪原の地図
(著作権の関係で掲載不可)

白瀬矗は、全員生きて帰ることを優先して、南極点に行くのをあきらめた。

着いた地点の周りを、大和雪原と名づけた。

現代の南極観測

100万年前のアイスコア取得を目指し
地球温暖化の謎に迫る

南極観測＞観測課題＞重点研究観測＞
最古級のアイスコア取得を目指す第3期ドームふじ
深層掘削
(<https://www.nipr.ac.jp/antarctic/science-plan10/juuten01.html>)

第3期ドームふじ深層掘削

国立極地研究所
＞研究成果・トピックス
＞南極の海洋生物起源の
硫酸塩エアロゾルは氷期
に減少していた
—南極ドームふじアイスコ
ア分析データの解析から—
(<https://www.nipr.ac.jp/info/notice/20190826-2.html>)

掘削で得られたアイスコア



出典：海上自衛隊ホームページ

南極観測船 しらせ

白瀬矗の功績は、現代の南極観測へと受け継がれ、気候変動や生物、宇宙など様々な研究が行われている。その功績が認められ、現在の南極観測船は「しらせ」と名づけられている。

南極観測船の歴史

初 代 宗谷（そうや） 1 9 6 2 年

写真
版權なし

2代目 富士（ふじ） 1 9 6 5 年

写真

3代目 しらせ5002 1 9 8 2 年

写真

4代目 しらせ5003 2 0 0 9 年

写真